



# JHFレポート

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

1998年 6月・7月号

## スカイレジャー・ジャパン大盛況

5月3日から5日まで、7月開港予定の佐賀空港で開かれた「スカイレジャー・ジャパン'98イン佐賀」は、ゴールデンウィーク中の開催でもあり、大盛況。過去最大規模の



パラグライダー体験。県連のみなさん、お疲れさま!

空の祭典になりました。

2日夜の荒天が関係者を心配させましたが、3日は晴天に恵まれ、開場が45分繰り上げられたほど、たくさんの観客が早朝から詰めかけました(初日だけで6万人の出入)。自衛隊のブルーインパルスによる編隊飛行やスカイダイビングのデモンストレーションに歓声があがり、各スカイスポーツの体験コーナーも大人気。

JHFからは、佐賀県ハング・パラグライディング連盟が参加。ハンググライダーのシミュレーションやパラグライダーの体験講習などを行いました。実際に体験した人

たちはもちろんのこと、多くの人々にスカイスポーツの楽しさを感じてもらい、理解を深めてもらえたことでしょう。



ハングのシミュレーションで高さ10mの眺めを楽しむ。

## 郵政省補助金交付決定『JHF スカイレジャー専用無線機の利用によるスカイスポーツの安全対策と活性化』

95年より3年越しに申請していた表記のJHF事業に対して、郵政省より補助金が交付されることになりました。

私たちのスカイスポーツには無線機の使用は不可欠ですが、郵政省ではスカイレジャー専用の無線機を一波だけ許可しています。

JHFでは社団化に伴い、合法的な無線の使用について、電波監理局と相談を続けてきましたが、大会やスクーリングには合法的にスカイレジャー専用波の利用が適当とされました。しかし、この専用波の無線機は高額(約20万円)なため、メーカーと再三交渉した結果、比較的低額(5万円以下)で機材の開発ができる見通しとなりました。

これをもとに、JHFでは、スカイスポーツの安全対策と活性化のため、合法的なスカイスポーツ通信整備事業を行うとして、機材購入の補助金の申請を95年より行ってきました。当時の渡辺良一事務局長(常任

理事)が申請書類をとりまとめ、提出。文部省の推薦とご指導を受けつつ、以後修正を加え申請を続けた結果、3年目に交付の決定をいただきました。具体的には、「お年玉付年賀葉書寄付金」よりの補助金をいただくこととなります。

この補助金は510万円。JHFの自己資金290万を加え800万円の事業となります。

計画ではスカイレジャー専用無線機を144台購入、各県連に2台、JHFに50台配備します。そして、大会運営や県連の活動に合法的に使用していただくことになっています。実施詳細は追って各県連に連絡されます。

また、4月14日、「寄付金配分決定通知書交付式」が芝郵便局で行われ、日本赤十字社など10団体に決定書が手渡されました。このようにJHFも公益法人として着実に国家や社会に認められるようになりました。

副会長 川添 喜郎



寄付金配分決定通知を受け取る川添副会長。

## 新委員長が本格的に活動開始!

先月号でお知らせしたように、立候補と理事会推薦によって、五つの常設委員会の委員が決まりました。5月29日、東京の中野サンプラザ研修室で行われた、1998年度JHF委員総会で、委員委嘱状を受け取った新委員たちは、本格的に委員活動を開始。フライヤーのため、ハング・パラグライディングのために頑張ろうという委員の皆さんを、ぜひ応援してください。

なお、新委員長が次のとおり選出されました。

PG競技委員会委員長 岡 良樹

HG競技委員会委員長 大澤 豊

制度委員会委員長 小林秀彰

教習検定委員会委員長 島野広幸

補助動力委員会委員長 山崎勇光



委員総会で事業計画を熱心に検討する新委員。

## 空のかお

その10



佐々木 和美(ささき かずみ)さん

同僚に誘われてパラグライディングの一日体験に行ったのが始まり。前から飛んでいた彼と一緒に本格的に始めた。初めて上手なパイロットと一緒にセンターリングした時の感動が忘れられないという彼女は、もっと高く、そして広い世界を見るために、現在パイロット目指して練習中! 東京都在住。

# カラビナ破断事故報告書

日本ハンググライディング安全性委員会 下山 進

1998年4月16日、SET 茨城、中島氏より JHSC (安全性委員会)宛に以下の事故報告がされ、破断したカラビナも調査用に安全性委員会に提出された。破断面から疲労破断であることは容易に推察できた。

過去においては海外で同様事故の報告があったが、日本国内で当委員会に報告があったのは初めてである。今後同様な事故の再発防止のため、破断面解析により破断要因を調査した。

## 1) 事故概要

情報提供者 SET 茨城、中島栄一氏 場所 茨城県足尾エリア 使用者 パイロット証所持、男性23歳 破断時状況 ハンググライダーのセットアップを済ませハーネスを装着し、カラビナにスイングラインを2回巻き付けたところ、カラビナがいとも簡単に破断してしまった。もし、この時に破断に至らずテイクオフしていたなら極めて重大な事故につながっていたこととなる。

## 2) 破断面解析

解析装置 走査型電子顕微鏡及び光学顕微鏡 試料 D型アルミニウム製、簡易回転ロック(樹脂製)付きカラビナ。製造年月日：不明 購入日：96年8月頃中古品購入。約1.7年経過中古購入品のためそれ以前の使用状態は不明。飛行時間：約200時間 飛行回数：約350回 過負荷経歴 96年12月、飛行中タンブルにより3～4回転したことがある。ポディーランディングすることが多い。

破断状態 D型カラビナの直線部から開口部への曲げ加工部の境界部で直線的に破断。(写真1)



写真1 破断カラビナ

## 解析結果

- 1)破断は曲げ部、内側中央の加工歪みが高い部分を起点としている。(写真2)
- 2)破断は起点部より半円を描き、放射状に外側に進行している。(写真3)

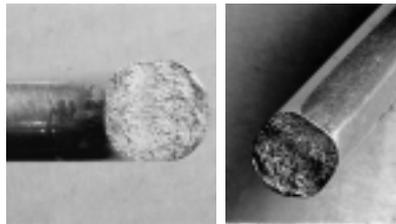


写真2 破断カラビナ

- 3)起点部を拡大観察すると、破断する以前に亀裂部が長時間にわたり圧着を繰り返していたため、破断面が圧延状態を呈している。(写真4-1、4-2)

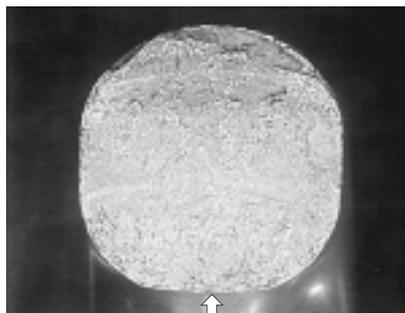


写真3 破断面全体像

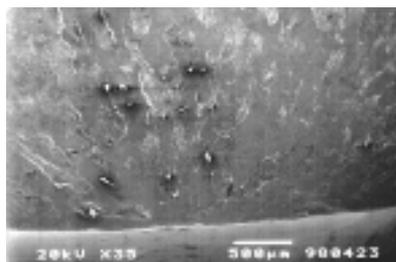


写真4-1 破断起点部拡大像 (倍率35倍)

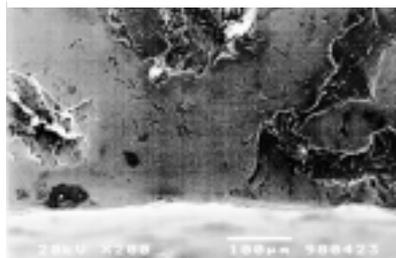


写真4-2 破断起点部拡大像 (倍率200倍)

- 4)破断面には起点部から外側終端部付近に至るまで、繰り返し荷重による疲労破断時に観察されるストライエーション(破断面の縞模様)が確認された。(写真5-1、5-2)

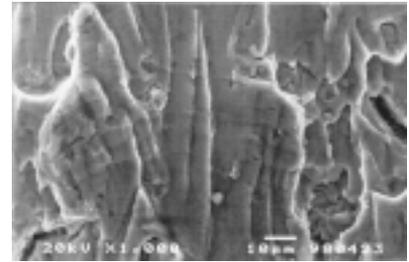


写真5-1 破断面に確認されるストライエーション (倍率1000倍)

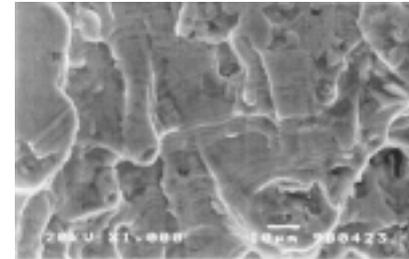


写真5-2 破断面に確認されるストライエーション (倍率1000倍)

- 5)ストライエーションは $0.5\mu\text{m} \sim 10\mu\text{m}$ 程度の寸法で進行している。(写真6-1、6-2)

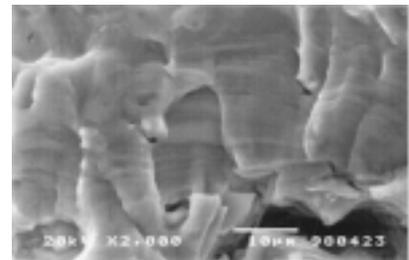


写真6-1 破断面に確認されるストライエーション (倍率2000倍)



写真6-2 破断面に確認されるストライエーション (倍率2000倍)

- 6)写真3の右上部、半月状部分から強制破断断面に観察されるディンプルパターンが確認されたことにより最終破断面と特定できる。(写真7)

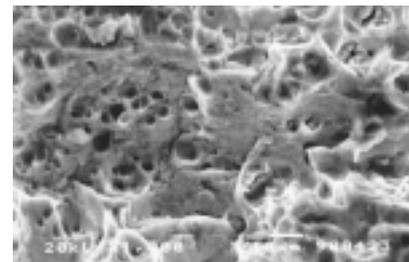
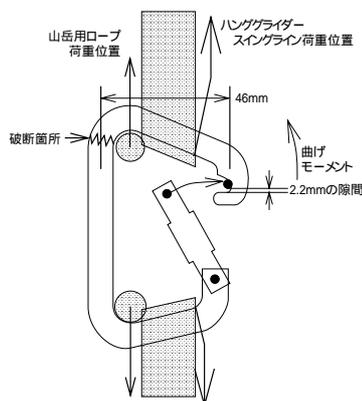


写真7 破断面に確認されるディンプルパターン (倍率1000倍)

- 7)ディンプルパターンが確認できるのは、破断面積の5%未満である。95%が疲労破断破断面、5%が強制破断破断面である。

考察 本来、山岳用品のカラビナは丸ロープの使用を想定しているため、荷重は曲げ部根元部に掛かるので、開口部に対する曲げモーメントは少ない。しかしハンググライダーに使用しているスイングラインは25mm幅程度のテープ状のため、カラビナに掛かる荷重がカラビナ開口部付近にかかり曲げモーメントが大きくなる。事故品のカラビナはロック部のピンとカラビナのフックとの間に約2.2mmの隙間があるため、飛行中は常時、またポディーランディング時には破断部付近に過大な曲げ応力を与える結果となっていた。96年の飛行中のタンブルが破断の起因であったかどうかは不明。(図 - 1)

図 - 1 カラビナ・スイングライン・山岳用ロープの使用上の概略図



勧告・対策 過去よりハンググライダー愛好家の中では、アルミカラビナを使用している場合は2個の並列掛けでセットするか、あるいはスチールカラビナを使用するよう指導しているようである。即刻、全ハングフライヤーは使用中のカラビナの傷、クラックの有無を点検し、疑わしき傷のある場合は新品と交換すること。また、交換する際は開口部のピンとフックの隙間が少ない物、ねじ込み式のように開口部が構造的に一体化し曲げモーメントに耐えられる物であること。材質的にはアルミ材より粘性の高いスチール、ステンレス製のカラビナの使用を推奨する。

..... かながわ・ゆめ国体コアイベント HG 大会終了のお知らせとお礼 .....

# 日立カップ国際ハンググライディング大会

神奈川県ハング・パラグライディング連盟 かながわ・ゆめ国体委員会 中野 信行

JHF レポート3月号でもお知らせしたとおり、上記HG大会が5月15日～19日の5日間、神奈川県秦野市丹沢エリアにおいて盛大に開催され、無事終了することができました。メインスポンサーである(株)日立製作所、そしてたくさんのボランティアの皆さんと、準備に携わってきたJHF、KHPF、丹沢スカイクラブ、国体局、秦野市その他各関係者の皆様に心からお礼申し上げます。日本のHG大会では世界選抜の予算で、国体の一環として行われた意義ある大会でした。5年にわたる永い準備期間をかけ、地元各関係諸団体の理解と協力の下、神奈川県国体局、秦野市国体局に対し、競技団体としてJHF、神奈川県連が協力する形で行ってまいりました。この5年間の景気の後退もあり、当初の大会予想規模よりかなり縮小され、スポンサーについては名乗りをあげていただける企業も少なく、国体局では相当苦労されたようでした。また企画段階においてパラグライダーの大会も計画にあがっていたにもかかわらず、都会に近いことによるいろいろな矛盾により、実施できなかったことは大きな心残りとなっています。しかし国体の一環としてHG大会だけでも開催できたことは、HG界、PG界にとって大きな実績になったものと思います。HG、PGを超えて、今後続く国体関係、大会、イベント、またスクールにおいても、この実績を利用し、生かしていただければ、今回このイベントに関わったすべてのボランティアの人たちの苦労が報われるものと確信しています。

さて今回の舞台となったエリア丹沢は東京、横浜の西70Kmほどのところに位置し、都心から近い割に1200m～1500m級の険しい山並みが東西に30Km程続き、高度な技術が要求されるテクニカルエリアとなっています。ここは10数年前より丹沢スカイクラブが管理し、パラ、ハングと一つになって約150人の会員で運営している会員制のエリアです。そしてゴールを兼ねたイベント会場は、今年の国体にあわせてオープン

したばかりの、水無川をメインに開発した広大な県立秦野戸川公園でした。競技は10名のスーパースターである海外招待選手を含め、77名の選手で競われました。今年の世界選チャンプを含む海外選手は予想どおり強く、天候不順で2日成立にもかかわらず、ルーマー選手とギド選手の強さは国内選手の大きな刺激になったものと思います。2日目の16日(土)はゴールが25名以上という観客にとって最高の見せ場になり、時速100km/hで突っ込んでくるギド選手のトップゴールをはじめ、次々に入ってくる無音で迫力あるゴールシーンは、たく

さんの観客に強烈なインパクトと感動を与え、選手への拍手が最後のランディングまで響いていました。競技の詳細は雑誌関係で伝えていただくこととして、このイベント会場はパラの1日体験、水ロケット、スタントカイト、ハングのシミュレーターなど大勢の観客を集め、5日間の延べ観客動員数は1万人に達したことをお知らせしておきます。事故もなく、大会は大成功のうちに終了しました。ここに、大会を支えてくれた数百人のボランティアの皆さんに感謝申し上げ、すべてのJHFの会員の方々に礼申し上げます。

## トップ5から日本のパイロットにひとつ

1位 マンフレッド・ルーマー オーストリア  
日本のパイロットの技術は、決して世界にひけをとっていません。これからもっと伸びるだろうと思わせる、何人もの選手にこの大会で会うことができました。

2位 ギド・ゲルマン ドイツ  
とにかくたくさん飛んで、楽しんでください。飛んでいるうちに、いろいろなことが見えてくると思います。でも、無理をしないで、怪我には注意して!

3位 クリス・アライ アメリカ  
ガンバッテ!(日本語でひとつ)

4位 オレグ・ボンダーチュク ウクライナ  
たくさんの大会に参加して、トップパイロットと一緒に飛ぶことが、最高の経験になるでしょう。今回のような大会に、また参加したいですね。

5位 ジェラルド・テブノ フランス  
ヨーロッパにどんどん飛びに来てください。一緒に飛びましょう。ヨーロッパの大会で、いろいろな国の選手と飛んだり、情報交換するのは、いい刺激になりますよ。



富士山に見守られてパイロンをめざす。



表彰式。右端は6位の峰岸正弘選手。



## 静岡県フライヤー連盟

理事長 森下 英樹

全国のフライヤーの皆様、こんにちは。静岡県フライヤー連盟です。県内のエリアやイベント情報は別の機会として、今回は当連盟の今までの経過と今後の取り組みについてお知らせします。

まず、当連盟は今から8年前、1990年4月、全国に先駆け発足しました。当時、まだ各都道府県連盟は存在していなく、全国が12の地区連盟として形成され、当連盟も、東海フライヤー連盟の一員として活動しつつ、県連としての独自の活動も行っていました。

なぜこのような早い時期から発足し活動していたのかと申しますと、静岡県には日本を代表するフライトエリアが全域に存在し、県内をはじめ、とりわけ、日本の半数近くを占める南関東フライヤーの50%もが静岡県内を利用され、当時から静岡県はハンググライディング・パラグライディングにとって絶好の地でありました。しかし、スカイスポーツが盛んであるがために、早くから事故の問題が取りざたされ、その防止策をはじめ、隣接するエリア間の調整や、日本選手権等の開催など、地区連盟としての活動を一歩進めた形、県単位での取り組みの必要に迫られておりました。

この8年間の活動の大きな柱の一つとして、やはり事故対策があげられます。95年に発生した朝霧での相次ぐ事故、特にフライヤーどうしの空中接触事故は大きくマスコミに取りあげられ、皆様の記憶にも新しいことと思います。

この事故は朝霧地区のエリア存続問題にとどまらず、日本スカイスポーツ界全体に波紋を広げ、全国のフライヤーの皆様にはいへんご迷惑をおかけしました。「この問題は県内だけでの取り組みでは限界がある」と判断し、JHF 渡邊会長をはじめ、東京都・神奈川県・愛知県連のご参加による緊急事故対策会議を主催しました。決議内容の一つに、フライヤーへの啓蒙活動の一環として「フライヤーはいずれかの都道府県連盟に加入すること」があり、これを県内での

フライト条件として採択しました。この決定に対して「静岡県連の資金集めではないか」、「静岡県連のエゴイズムでは」など、非常に落胆させられる意見も、各地から少なからずありました。その後、「フライトの際の県連への加入義務」は、岐阜県・愛知県・岡山県などで採択され、今ではフライヤーとして当り前の義務となりつつあります。おかげさまで朝霧も存続でき、事故も減少しております。

さて、今後の取組みですが、もちろん引き続き事故防止を第一の課題としていきます。そして「パラグライディング・ハンググライディングの普及活動」も、もう一つの大きな課題として強力に推進していきます。これは単に無料体験会の開催等に留まらず、いかにパラ・ハンググライディングを県民のスポーツとして定着させていくか「県連として何ができるか」考えていきたいと思っております。

その一例として、当連盟が主催・後援している「パラグライダー静岡県カップ」をより充実したものに発展させていきます。この大会は県内フライヤーを対象に県独自のポイントシステムにより順位を競い合う、いわば、ナショナルポイントシステムの県内版でした。日本選手権や世界選手権大会は日本や世界でナンバー1の選手を決める事が目的です。その延長としての静岡県カップでは静岡県のナンバー1を決めるための大会でしかなく、これでは「フライヤーが主催するフライヤーのためのもの」つまり「自分達だけの大会」でしかありませんでした。パラグライディングやハンググライディングが将来、国体の正式種目と認められ、オリンピック参加を目指すのであれば、もっともっとその地域に根差した「県民・国民のスポーツ」として名実ともに認められる必要があります。それには一般の人達も参入したいイベントにする事が重要で、選手も観客の方々も参加し、楽しむ、つまり大会という名の「空の祭典」にする事が不可欠です。JHFは数年前までは任意の



92年、西富士エリアでのHG日本選手権。

団体でした。しかし、堂々と社団法人化した現在、県連がこの肩書きを使わない手はありません。観客の動員や大会の運営のために、当連盟は社団法人の名を有効に活用し、県や市町村、マスコミにも積極的に働きかけていきます。また、JHFをはじめ各都道府県連盟が体協に加入する時期に来ていることも強く感じます。

楽しめる大会内容の具体案としては、競技タスクを比較的短く設定します。可視範囲での飛行は、観客にもわかりやすく、フライトリスクを少なくし、選手にゴールする喜びを味わってもらうことが可能です。また、会場でのアナウンス方法をマニュアル化したり、専門のアナウンサーを育成して「いま競技で何が行われているのか」を観客の皆様にもわかりやすく紹介します。一般的には理解しにくい得点算出方法も見直す必要があるかと思っております。

競技を観戦し理解していただくだけではなく、あわせて無料体験会などへの参加を募集していきます。また、無料体験会参加者を各スクールに紹介することも重要だと思っております。大会を、レース指向の一部のフライヤーのものとしてはいけません。幸い、JHFでは今年度よりパラグライダークラス2(SPS)の競技が始められました。安全な大会により多くの人が参加し楽しめるよう、県連では積極的にこのクラスも活用していくつもりです。

以上、活動の一部ですが、静岡県連盟の紹介とさせていただきます。当連盟へのご意見・ご感想等、ぜひお聞かせください。なお、県連のホームページを開設しておりますので、こちらをご利用ください。

<http://www.venus.dti.ne.or.jp/jpm/sff>

## 日本ハンググライディング安全性委員会 (JHSC) 議事録

1998年度第1回委員会

日時：1998年4月16日(木)13時～17時

場所：航空会館6階 401会議室

出席委員：阿部郁重、斉藤 紀、岡 良樹、野

口常夫、小宮國男、下山 進

委任状：山崎勇光、幸路尚文

オブザーバー：渡邊敏久、鈴木康之

技術部会(型式登録審査)

形式登録申請の提出なし

定例委員会

1. プロトタイプ・パラグライダーの登録規定について

前回、岡委員から提案のあったプロトタイプ・パラグライダーの型式登録について、阿部委員長が登録規定案を提出、原案のとおり承認された。

2. 引張試験機の導入について

吊索用引張試験機の導入が提案され、次回までに各委員が具体策を持ち寄り検討を行うことになった。

3. CIVL出席報告

鈴木理事が、CIVL(FAI国際ハンググライディング委員会)への出席報告を行い、DHVが提出した吊索破断事故に関する資

料を回覧した。

4. カラビナ破損事例への対応

3月に発生したカラビナの折損事例に対し、JHSCからの警告をJHFレポートに掲載し、他にも同様の事例がないか情報の提供を呼び掛ける。(野口委員が文案を作成)

5. 吊索の結び目の弛みについて

吊索の結び目が弛むので原因を調べてほしいと、一般フライヤーから提出されたパラグライダーを委員一同で検証。下山委員が更に詳しく調査して報告文書を作成することになった。

JHFでは、ハング・パラグライディング普及のための事業に取り組んでいます。無料体験会だけが普及活動ではなく、何かもっと効率的で、波及効果の大きい方法があるかもしれません。もう一度人口減少の要因を洗い出し、検討することで、読者の皆様のご意見を伺いたいと思います。

**新規愛好者減少傾向にストップがかからない2つの要因**

1. 購買力の減少  
世の中が不景気で、物を買うことを控える風潮にあり、遠いスクールへ通ったり高額な機材を購入することは敬遠されている。

対策については...  
新規フライヤーの人口の増減データでは、中高年層よりも若年層に減少の傾向が著しくみられます。いろいろな要素が考えられますが、ひとつには「ハング・パラを続けるための資金」に問題があると思われる。スクールによっては、学割など若年層

に対する優遇処置を行っている所もありますが、さらに機体販売の割引きなど、スクール業者の努力を切に期待したいと思います。また、機体メーカーにお願いするとすれば、安全な初級機・中級機を安く供給してもらおうことです。需要が伸びれば価格は下げられるはずですが、買う側（フライヤー）がより上級機を欲しがり、売る側（メーカー）もコンペ機を売りたいがっていつては価格は下がりにくいです。上級機・コンペ機が必要なパイロットはごくわずかだと思います。

2. 波及効果の減少  
テレビでハングやパラの放送が少ない。「鳥人間コンテスト」よりエキサイティングな競技なのに、なぜか放送されない。

対策については...  
JHFがマスメディアに対してできるだけ多くの情報やサービスを配信する努力ももちろん必要です。ただし、流行スポーツが大



丹沢で開かれた神奈川県連の体験講習会。

衆（主に若年層）に支持されるには、それなりの理由があります。それはファッション性です。ファッション性とはウェアやファッションに気を使えという意味ではありません。「人に見られるスポーツ」かどうかです。ある程度の観客に見られることが、新規愛好者を確実に増やします。

日本選手権や公認大会は別にして、見ていて楽しい競技が必要ではないでしょうか。画期的な競技内容のご提案があれば、ぜひJHF事務局内、普及事業推進室までご一報ください。

**全国普及活動に関するアンケートの集計報告**

全国普及体験講習会の事業も今年で3年目になりました。毎年、(財)日本財団からの320万円の助成金を軸に活動してきましたが、補助は本年度で打ち切りとなり、平成11年度からは日本財団からの助成金はありません。そこで全国普及活動の根本的な見直しが必要となり、その方向性を考えるにあたり、全国47都道府県連盟に対し次のようなアンケートを実施しました。JHFレポート読者はどのようにお考えでしょうか？

- 「全国体験講習会」は普及活動に寄与しているものと思われませんか？  
A. おおいに普及活動に役立っていると思う。  
B. やらないよりはマシだと思う。  
C. 経費のわりに普及・波及効果があるとは思えない。  
D. その他。
- 現在活動している「全国体験講習会」は今後も継続すべきでしょうか？

- 今後さらに発展して継続すべきだと思う。
  - 経費のかからないように工夫して継続した方がよいと思う。
  - パラ・ハングの人口増加に役立っているとは思えないので企画を見直すべきだ。
  - その他。
- 形態を変えずに継続していく場合に、その予算（平成11年度）をどのように組むべきでしょうか？  
A. 競技等、他の経費を削減してもJHFの年間予算で組むべきだと思う。  
B. 開催県連の負担分を増やす方向で組むようにする。  
C. 他に補助金の助成先を探し、収入がなければ中止になっても仕方がない。  
D. その他。
  - JHFからの補助金がなくなった場合でも、貴連盟において「無料体験会」等を実施できますか？  
A. 独自でも実施していくつもりでいる。

- 2年に1度にするとか規模と回数を縮小して実施するしかない。
  - JHFからの補助金がなければ実施は難しいと思う。
  - その他。
- 貴連盟においては過去に「全国体験講習会」の開催実績がありますか？  
A. JHFの指導がある以前から、毎年独自に無料体験会等を実施している。  
B. JHFの呼びかけに応じ（平成8年度・平成9年度）に実施した。  
C. 昨年までは開催の実績はないが、今年度は実施の方向で検討している。  
D. 過去に開催した経緯はなく、今後も開催する計画はない。
  - 貴連盟では本年度の体験講習会を実施する予定ですか？  
実施する  
× 実施しない  
検討中

アンケート回答結果 5月25日現在							平成10年度全国体験講習会開催実施連盟一覧(予定も含む)																		
連盟名	1	2	3	4	5	6	福井県																		
北海道	A	B	A	A	A		和歌山	B	B	D	D	B		佐賀県	5月3日~4日	佐賀郡川福岡	埼玉県	9月	日	都幾川村スカイクラブ					
青森県	A	A	C	A	A		滋賀県							福島県	5月5日	舟引町	神奈川県	10月10日		川崎市多摩川緑地公園					
岩手県	A	B	B	A	B		京都府							神奈川	5月16日	県立秦野戸川公園	徳島県	10月10日		吉野川グランド					
宮城県	C	C	D	C	B		大阪府	B	C	C	D	D	×	高知県	5月24日	高須浄化センターランド	香川県	10月10日		丸亀市土器川河川敷					
秋田県	A	B	B	A	B		兵庫県							富山県	5月31日	つくばね山原山牧場	千葉県	10月18日		幕張海浜公園					
山形県							奈良県	D	C		C	D	×	鳥取県			宮城県	6月7日		泉ヶ岳スカイランド					
福島県	B	A	A	A	B		鳥取県							岡山県	C	B	D	C	B	和歌山	6月28日	高野山転輪山公園			
埼玉県	C	C		C	B		島根県							広島県	6月	日	高田郡甲田町あらまき牧場	和歌山	6月	日	高田郡甲田町あらまき牧場				
千葉県	C	C	C	C	B		岡山県	C	B	D	C	B		徳島県	C	C	C	C	B	静岡県	6月	日	浜松市		
東京都							広島県	D	A	B	A	B		香川県	B	C	C	C	C	北海道	6月	日	候補地検討中		
神奈川県	A	A	A	A	A		山口県	A	A	B	C	B		愛媛県	B	D	C	C	B	栃木県	7月11日		宇都宮ろまんちっく村		
群馬県							徳島県	C	C	C	C	B		高知県	A	B	A	A	C	青森県	7月11日~13日		青森市		
新潟県	A	A	A	C	C		愛媛県	B	D	C	C	B		福岡県						佐賀県	B	B	C	B	B
山梨県							福岡県							佐賀県	B	B	C	B	B	長崎県					
長野県							福岡県							佐賀県	B	B	C	B	B	熊本県	B	B	C	C	B
茨城県	C	C	C	A	A		福岡県							大分県						宮崎県					
栃木県							福岡県							大分県						宮崎県					
岐阜県	A	B	A	A	B		福岡県							大分県						宮崎県					
静岡県	C	C	C	C	C		福岡県							大分県						宮崎県					
愛知県							福岡県							大分県						宮崎県					
三重県	A	A	A	A	C		福岡県							大分県						宮崎県					
富山県	B	B	A	A	A		福岡県							大分県						宮崎県					
石川県							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県							大分県						宮崎県					
							福岡県																		

私たちの

クラブ

です!

# Wind sports ウインドスポーツ

ウインドスポーツは茨城県板敷山を中心にフルタイム(平日も)で活動するハンググライダーを愛する子供(大学生)と大人(社会人)から成り立つ総合的なクラブで、関東近郊の大学サークル8校及び「1チーム」に代表される複数の社会人サークルで構成される、200人+の会員数を誇る日本国内屈指のハンググライディングチームです。世界選手権代表メンバーから、始めて間もないビギナーまで「明るくさわやか



もちろん観光もありのヨーロッパツアー。

に”をモットーとしています。

明るくさわやかにやるためには、やはりある程度しっかり練習はしなければなりません。ステップバイステップで楽しくハンググライディングを練習し、最終的にライフスタイルとして楽しめるようにと考えています。

スクーリングは春に新人が入校し、海岸、タンデム、菅平での宿舎などを経てほとんどの人たちが秋に山形県の十分一山で感動の初高々度デビューを飾ります。

その後、ウインドスポーツスタッフ、先輩パイロットに見守られながら板敷エリアでのフライトを重ね一人前になっていきます。年間の主な行事は、国内外大会参加、国内ツアー8回、夏のヨーロッパツアー、冬のオーストラリアツアー、などなど書ききれないほど盛りだくさんです。

とまあこれが正規の“授業”ですが、ウインドスポーツには様々な“課外授業”が部活動として盛んに行われており、ハンググライダー以外の部分でも他のクラブに目置かれています。代表的なものを一部ご紹介致しますと...



ヨーロッパツアーは楽しいし、よい刺激になる。

## 体育会系クラブ

ゴルフ部“イーグルス”: シングルプレイヤーを目指す集団。

ハッキーサック部: ハッキーサック選手権参加を目指しています。

カラオケ部: 何時どこで指名されてもOK、日夜練習はかかしません。

## 同行会系クラブ

長寿会: 冬のハングがきつくなってきたおじさん達のスノボサークル。

セントアンドウズ: 練習をまったくしないゴルフ同好会

等等、とにかく皆さん元気なのです。雨が降ろうが天気が悪かろうが板敷に集まり、仲間と盛り上がり帰っていく。ハンググライダーで飛べればもっと楽しい、これが基本的なスタイルですね。またこの度ホームページも開設しましたので、そちらもご覧になってみてください。

<http://www02.so-net.or.jp/windhgs/>です。

## 理事からひとこと

### 副会長 川添 喜郎

4~5月と、教習検定委員会、補助動力委員会、競技委員会、ホームページ検討委員会(インターネット専門委員会)等に出席させていただきました。若い委員の方々の熱心な討議を聞いていてJHFが着実に力強くなってきているのを感じ入りました。

新しい委員が決定し5月29日に委員総会がありました。引き続き活躍される委員と11名の新委員の話し合いはとてもホットでした。

正会員(県連)の役員人事等の連絡文書が届いています。役員交替もあるようですが、県連設立時の目的を正しく引き継ぎ、「公益」に価する組織づくりがなされることを確信しています。

春先の悲しい事故のニュースが今年も届いています。しかし、JHSCに事故届が出されていない例もあるようです。今後のためにもぜひ安全性委員会への報告にご協力ください。

このひと月、会議の連続。理事さんもクタクタ。6月にはJHF20周年記念式典。諸機関や社会の方々にJHFの公益性を認めていただけるよい機会となることを願っています。

### 常任理事 事務局長 朝日 和博

97年度の技能証申請料関係の収入が約2割減と大幅に落ち込んでいます。フライヤー登録数のデータから見ると、特に若い世代が減少しております。どうしてこのようになって来ているのかを真剣に考えなければならないことと思います。

一方、JHFに対する社会の期待が高まっています。今年8月のボーイスカウト日本ジャンボリーでPG体験講習会の開催依頼が来ております。また、FAIと国際ワールドゲームズ委員会より、2001年の日本で開催されるワールドゲームズにHG/PGの国際大会開催の話も出ております。JHFとしては積極的に対応して行きたいと思えます。

### 常任理事 岩間 雅彦

公募していた1998-1999年度の各委員会(HG/PG競技、教習検定、補助動力、制度)の新メンバーが決まり、私が担当している制度委員会メンバーが大幅に代わりました。昨年度の制度委員会のテーマはタンデム技能証制度や、従来の各制度の表現を整理した規定集の作成などで、前者については6月の総会で提案される予定です。後者については、技能証関係の制度についての作業を小林秀彰委員を中心に、ほぼでき上がりました。これは理事会の承認を得

た上で各都道府県連に配布されます。今年度は引き続き組織に関する規定を整理して規定集を完成させる予定ですが、その他のテーマはまだ決まっていません。

制度委員会は基本的に理事会の諮問を受けて活動する委員会ですが、諮問を待っているのみではなく、積極的にテーマを探したり、問題提議をしていかないと活動が低調になってしまいます。是非この問題を取り上げて欲しいという御要望があれば、JHF事務局までFAXまたは郵便で出してください。参考にさせていただきます。電子メールの場合はmiwama@imasy.or.jp宛でも結構です(私個人のアドレスですが)。

JHFのホームページについて、前回正式運用に移行すると発表しましたが、諸般の事情でまだ準備が十分に整っていません。こちらは5月30日にオフライン会議(実際に担当者が顔を会わせて行う会議)を開いて最終的な運営体制を打ち合わせました。アクションが遅れてしまい、申し訳ありませんが、もう少しお待ちください。

### 理事 関谷 暢人

1991年4月より懸案事項として押し進めておりました「FAI国際技能記章制度」がようやく(財)日本航空協会より承認され実施を具体化することとなりました。

詳しくは6月定例理事会において審議され、JHF レポートにて告知される予定です。また、実施までの業務はプロジェクトチームを設置しこれを消化する予定です。

つきましては当業界有識者より3~4名を募りますので、お手伝いをしていただける方、我こそはと思われる方は県連を通じて意思表示してください。(あくまでもボランティアです)

**業務課題**

- 1.FAI 国際技能記章規定制定
- 2.FAI 国際技能記章検定員規定制定
- 3.FAI 国際技能記章交付手続き書類及び認定書類・記章の制作
- 4.98年度FAI 国際技能記章検定員認定会の開催
- 5.98年度FAI 国際技能記章検定会の実施

理事 小林 朋子

ゆめ国体のハンググライディング国際大会にスタッフとして参加しました。無事に

終わって充実感を味わっています。大会期間中の週末、ランディング場は万人余りの観客で盛り上がりました。海外でもこんなに観客の集まる大会はめったにないようです。工夫次第で大会をイベントとしてこんなに盛り上げることができるのだと感心しました。この経験を今後の普及活動に役立てていきたいと思ひます。

理事 松田 保子

衣替えしたJHFレポート、いかがですか。フライヤーの皆さんに伝えたいことはたくさんあるのだけれど、ページ数に限りはあるし...でも、できるだけ読みやすく楽しい、そして役に立つJHFレポートをめざして、広報出版局の宮沢明さんと一緒に頑張ります。レポートへのご意見ご要望を、ぜひ聞かせてください。また、寄稿も歓迎です。ただし、お名前と連絡先を明記してください。郵送でもFAXでもOK。JHF事務局まで。

**大会報告**

'98 板敷スプリングフライト (HG)

1998年4月8日~4月12日  
茨城県八郷町板敷山エリア

1位	三浦 健二	大阪府	2327.3点
2位	阿部 敏雄	千葉県	2056.5点
3位	宮本 功	茨城県	2037.7点
4位	峰岸 正弘	茨城県	2018.8点
5位	外村 仁克	大阪府	1992.8点
6位	伊藤 幸博	東京都	1953.0点

プレ日本選手権、日本選手権とビッグコンペが続いたため、この大会は久しぶりの開催となった。大会の名物でもあるロングディスタンスのゴールタスクが期待されたが、春の南風が吹かず成立4本中、1本もゴール者が出なかった。優勝は、初日にただ一人距離を伸ばした三浦選手が270点の差をつけて逃げ切った。2位にはベテランで地元の阿部選手が「ツノあり」で唯一ベスト10入りを果たした。

**大会開催予定(1998年5月20日現在)**

PS: ポイントシステム対象 (ポイントシステム対象、公認については申請中を含む。) 参加資格 XC: クロスカントリー証 P: パイロット証 NP: ノービスパイロット証 B: B級練習生参加可 会員: 都道府県連盟に属する者

区分	大会名	日程	開催地	参加資格	参加費	締切
PG	公認 98ニセコスカイラー	7/18~20	北海道ニセコ	P	18,000円	7/6
	PS 〒048-1522 北海道虻田郡ニセコ町曾我477 TEL.0136-44-2686					
公認	びわ湖バレイPGオープンカップ	7/19~20	びわ湖バレイスキー場	P	5,000円	7/10
	〒520-0242 滋賀県大津市本堅田3-12-39 TEL.077-574-0501					
公認	パラグライダーフェスティバルIN浜名湖	7/24~26	浜名湖フライトパーク	P・B県連加入	11,000円他	7/7
	PS&SPS 静岡県引佐郡三ヶ日町大谷310-7 静岡県フライヤー連盟 TEL.053-526-0141					
公認	八上姫ジャパンレディースカップ	7/25~26	鳥取県霊石山エリア	B以上	10,000円	7/17
	〒680-1221 鳥取県八頭郡河原町渡一木277 河原町役場内 大会事務局 TEL.0858-76-3116					
公認	スキージャムカップ	8/14~16	福井県スキージャム勝山	P	10,000円	8/3
	SPS 〒911-0854 福井県勝山市170-70 TEL.0779-87-6311					
公認	98立山らいちょうバレーカップ第二戦	9/12~13	らいちょうバレースキー場	XC	20,000円	8/31
	PS 〒125-0031 東京都葛飾区西水元6-22-15 TEL.03-3608-8626					
HG	八上姫ジャパンレディースカップ	7/25~26	鳥取県霊石山エリア	B以上	10,000円	7/17
	〒680-1221 鳥取県八頭郡河原町渡一木277 河原町役場内 大会事務局 TEL.0858-76-3116					

**検定会開催予定(1998年5月20日現在)**

P: PGパイロット学科 NP: ノービスパイロット学科 HG: HGパイロット学科 XC: クロスカントリー学科

種類	検 定 日	時 間	開 催 場 所	主 催 ・ 連 絡 先
P	7/4 (土)	18:00~20:00	茨城県つくば市	エコスポーツ TEL.0298-67-4031
P・NP・HG・XC・PW	7/5 (日)	10:00~11:30	香川県丸亀市	香川県連盟 TEL.0877-22-8237
P	7/5 (日)	16:00~18:00	山梨県中巨摩郡	DK甲府白根 TEL.0552-85-7570
P・NP・XC	7/5 (日)	10:00~16:00	福井県勝山市	ディクロス TEL.0776-23-4411
NP	7/11 (土)	17:00~19:00	岡山県阿哲郡	SET 大佐山 TEL.0867-98-3400
NP	7/11 (土)	17:00~18:30	静岡県熱海市	パラフィールド TEL.045-680-1866
P・NP・XC	7/12 (日)	15:00~18:00	長野県伊那市	JMB 中部 TEL.0265-49-2853
P・NP・XC	7/12 (日)	12:00~16:00	静岡県田方郡	イクス TEL.0559-74-3439
P・NP・XC・PW	7/18 (土)	13:00~17:00	中野サンブラザ	東京都連盟 TEL.03-3724-0010
P・NP	7/18 (土)	18:00~	東京都足立区	ジオスポーツ TEL.03-3886-7427
P	7/25 (土)	17:00~19:00	岡山県阿哲郡	SET 大佐山 TEL.0867-98-3400
P・XC	7/25 (土)	17:00~18:30	静岡県熱海市	パラフィールド TEL.045-680-1866
P・NP・XC	7/26 (日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196
P・NP・HG・XC・PW	8/2 (日)	18:00~20:00	神奈川県民センター	神奈川県連盟 TEL.0460-3-5391
NP	8/8 (土)	17:00~18:30	静岡県熱海市	パラフィールド TEL.045-680-1866
P	8/22 (土)	17:00~18:30	静岡県熱海市	パラフィールド TEL.045-680-1866
P・NP・XC	8/30 (日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196
P・NP・HG・XC・PW	9/8 (火)	17:00~20:30	横浜市東戸塚地区センター	ヨコハマスカイスーツクラブ TEL.0460-3-6958
XC	9/12 (土)	17:00~19:00	岡山県阿哲郡	SET 大佐山 TEL.0867-98-3400
NP・XC	9/12 (土)	17:00~18:30	静岡県熱海市	パラフィールド TEL.045-680-1866
P・NP	9/26 (土)	16:00~18:00	山梨県南都留郡	オーバルスリー TEL.0555-76-7771
P・NP・XC	9/27 (日)	9:00~12:00	熊本県阿蘇郡	阿蘇ネイチャーランド TEL.0967-32-4196

# スクール情報登録のご利用を！

昨年から実施している「スクール情報登録」は、登録されたハング・パラグライディングスクールの情報 -- 主な講習地、講習内容、講習日等を、JHF のホームページ上で紹介するもの。登録は常に受け付けていますので、各都道府県連盟に連絡を。下記は6月現在の登録校。

1101	北見パラグライダースクール・ウェーブ 北海道北見市緑ヶ丘 3-9-24 ☎0157-22-2549	4708	KPS 富士見高原パラグライダースクール 長野県諏訪郡富士見町富士見 3150-1 ☎0266-62-4909
1102	スカイスポーツ・ルズツ 北海道千歳市大和 2-7-6-301 ☎0123-22-9128	4709	JMB 富士見パノラマ PG スクール 長野県諏訪郡富士見町富士見 6666-717 ☎0266-62-7691
1103	JMB ルズツパラグライダースクール 北海道札幌市厚別区上野幌 1 条 3-9-5 ☎011-892-6822	4710	JMB 中部パラグライダースクール 長野県下伊那郡根羽村 1956 ☎0265-49-2853
1104	秀岳荘パラグライダースクール 北海道札幌市北区北 12 条西 3 ☎011-726-1235	4711	SET 南信州鳩吹ネイチャーランド 長野県伊那市横山風の谷 9749 ☎0265-73-5644
1105	道南スカイスポーツスクール 北海道函館市美原 3-37-1 ☎0138-47-0030	4801	新治こまちパラグライダースクール 茨城県新治郡新治村小野 126-7 ☎0298-62-5355
2201	津軽岩木フライングスクール 青森県弘前市桔梗野 5-6-12 ☎0172-37-6768	4802	SET スカイスポーツスクール茨城 茨城県新治郡八郷町小屋 576-1 ☎0299-43-0893
2202	JMB 青森大鰐パラグライダースクール 青森県弘前市高田 1-14-9 ☎0172-26-9657	5301	中日パラグライダースクール 愛知県名古屋市中区東大曾根町上 3-1020-2-204 ☎052-911-0537
2401	オニコウベパラグライダースクール 宮城県玉造郡鳴子町鬼首字小向原 9-27 ☎0229-86-2434	5302	中日 MPG スクール 愛知県名古屋市中区東大曾根町上 3-1020-2-204 ☎052-911-0537
2402	ホワイトテラスパラグライダースクール 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉 ☎0224-34-3783	5401	三重 HG スクール・パース・アイ・ビュー 三重県桑名市播磨岸下 3094 ☎0594-24-2907
2403	サンライフパラグライダースクール 宮城県仙台市青葉区北目町 3-9 ☎022-267-2365	5701	獅子吼高原 HG・PG スクール 石川県石川郡鶴来町明島町中 60-5 ☎07619-3-0658
2404	北日本ソアリングハンググライダースクール 宮城県石巻市湊字大門崎 211-1 ☎0225-96-8095	6501	伊吹山パラグライダースクール 滋賀県坂田郡吹上町上野 1488-2 ☎0749-58-1382
2405	泉ヶ岳スカイランド HG スクール 宮城県仙台市太白区西中田 6-17-20 ☎022-241-2323	6502	SPL パラグライダースクール 滋賀県坂田郡吹上町上野 1855 ☎0749-58-2020
2501	JMB 秋田東成瀬パラグライダースクール 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内天神林 3-5 ☎0182-47-2176	6503	琵琶湖アドベンチャースポーツクラブ 滋賀県大津市本堅田 3-14-5 ☎0775-72-1254
2502	KISS 秋田パラグライダースクール 秋田県秋田市土崎港北 2-4-1 ☎0188-46-6630	6801	UP JAPAN パラグライダースクール 兵庫県城崎郡日高町太田 159-10 ☎0796-45-0598
2601	蔵王坊平パラグライダースクール 山形県上山市蔵王坊平高原 ☎0236-79-2772	6802	さのう高原パラグライダースクール 兵庫県朝来郡朝来町さのう高原 ☎0796-77-0063
2602	ラムエアクラフト 山形県鶴岡市高坂杉ヶ沢 115-16 ☎0235-24-2440	6803	兵庫県氷上郡青垣町市原 771-1 ☎0795-87-0501
2603	新庄パラグライダースクール 山形県新庄市金沢 130 ☎0233-22-8931	6804	ケンベックパラグライダーアカデミー 兵庫県宍粟郡山崎町山崎 26 ☎0790-62-1795
2604	ソアリングシステム PG スクール 山形県南陽市若狭郷南 771-1 ☎0238-40-2149	6805	ロールアウトパラグライダースクール 兵庫県氷上郡青垣町佐治中市場 23-1 ☎0795-87-1825
2605	エクステンパラグライダースクール 山形県山形市鈴川町 1-2-20 ☎0236-31-7978	6806	クロスフィールド PG スクール 兵庫県城崎郡日高町太田 158-70 ☎0796-45-1390
2606	トントンとんびび HG・PG スクール 山形県上山市三本松 126-19 ☎0236-72-6206	6807	アークパラグライダースクール 兵庫県城崎郡日高町十戸 313 ☎0796-44-0088
2607	ノブ・エアファクトリー 山形県南陽市赤湯 2321 ☎0238-43-2927	6808	ゆり山パラグライダースクール 兵庫県氷上郡青垣町西芦田 309 ☎0795-87-0793
3101	ジェネスパラグライダースクール 埼玉県浦和市南浦和 3-33-14-2F ☎048-882-2730	7301	SET 大佐山スカイスポーツスクール 岡山県阿哲郡大佐町大阪部 2240-1 ☎0867-98-3400
3102	ビッグエアパラグライダースクール 埼玉県秩父郡長瀬町岩田 715-1 ☎0494-66-0862	7302	つばさ倉敷パラグライダースクール 岡山県倉敷市神田 4-1-10 ☎086-444-2324
3103	登谷石パラグライダースクール 埼玉県熊谷市桜木町 1-8 ☎0485-23-0646	7501	JMB 中国パラグライダースクール 山口県山口市大内長野 ☎0839-27-4588
3104	スカイラプパラグライダースクール 埼玉県比企郡幾川村大字大野勝負 1250-10 ☎0493-67-1727	7502	ラブラブ HG・PG スクール 山口県柳井市宮野 1915-24 ☎0820-22-5764
3201	スカイエンジェル HG・PG スクール 千葉県君津市杉谷 23-7 ☎0439-55-1123	8601	HG・PG スクール「スカイ」 徳島県徳島市山城町東浜 39 ☎0886-25-6673
3301	ビッグバード HG・PG スクール 東京都目黒区八雲 5-12-18 ☎03-3724-1201	8701	讃岐パラグライダースクール 香川県高松市権紙町 1619-1 ☎0878-86-7397
3302	怪鳥倶楽部スカイスポーツスクール 東京都世田谷区若林 2-10-6 ☎03-3487-0601	8702	グラッツァ HG スクール 香川県高松市番町 3-4-4 ☎0878-31-8402
3303	ハルナパラグライディングスクール 東京都保谷市新町 1-14-16-201-CX ☎0422-53-6226	8703	VAN スカイスポーツ PG スクール 香川県高松市権紙町 650 ☎0878-86-2740
3401	YSC 箱根パラグライダースクール 神奈川県足柄下郡箱根町箱根 381 ☎0460-3-6958	8801	ESD パラグライダースクール 愛媛県松山市東垣生町 810 ウインドバル ☎089-971-3190
3402	レッドカンパニー HG・PG スクール 神奈川県足柄下郡湯河原町吉浜 849 ☎0465-62-3569	8802	JMB 四国パラグライダースクール 愛媛県松山市松末 1-10-29 ☎089-975-4766
3403	今井浜高原フライングスクール 神奈川県茅ヶ崎市中海岸 2-2-10 (有) デルタウイング ☎0467-85-8665	8803	塩塚スカイスポーツ 愛媛県宇摩郡新宮村大字上山塩塚高原 ☎0896-72-2603
3404	パラフィールド 神奈川県横浜市中区常盤町 1-2 関内日本ビル 6F ☎045-680-1866	9001	福岡パラグライディングスクール 福岡県福岡市東区雁の巣 1-5-8 ☎092-607-8735
4501	上越パラグライダースクール 新潟県南魚沼郡塩沢町若沢 1673-26 ☎0257-83-3802	9002	フライングブラザーズ HG・PG スクール 福岡県筑紫野市紫 511-1-101 ☎092-928-6826
4502	SET 尾神岳パラグライダースクール 新潟県中頸郡吉川町尾神 588-2 ☎0255-47-2066	9301	コットンクラブ 広島県西区楠町 4 - 1 9 - 1 ☎082-238-3016
4503	シーサイドバレー PG スクール 新潟県糸魚川市大字山口 151-1 ☎0255-52-1364	9301	阿蘇ネイチャーランド 熊本県阿蘇郡阿蘇町内牧 1092-1 ☎0967-32-4196
4701	小谷パラグライダースクール 長野県北安曇郡小谷村白馬乗鞍高原 ☎0261-82-2566	9302	ブレジャークラブ P G 同好会 広島県安芸郡府中町新地 3-4(株) アドインターナショナル内 ☎080-715-1476
4702	白馬パラバントスクール 長野県北安曇郡白馬村北城 11552 ☎0261-72-6022	9302	高野 S P S パラグライダースクール 広島県比婆郡高野町下門田 5 9 - 1 8 4 ☎082486-2328
4703	白馬パラトピア五竜 PG スクール 長野県北安曇郡白馬村神城エスカルプラザ ☎0261-75-3210	9303	タートルズ パラグライダースクール 広島県広島市西区己斐上 5-43-1-105 ☎082-274-4112
4704	JMB 白馬パラグライダースクール 長野県北安曇郡白馬村北城 14718-167 ☎0261-72-7470	9401	デイバックパラグライダースクール 大分県大分市大道 4-2 ホクセイビル 1F ☎0975-43-8866
4705	魔王パラグライダースクール 長野県下高井郡山ノ内町魔王スキー場 ☎0269-33-7026	9402	伐株山パラグライダースクール 大分県玖珠郡玖珠町塚脇さつまラーメン内 ☎09737-2-4566
4706	SET 木島平パラグライダースクール 長野県下高井郡木島平村上木島原 3886 ☎0269-82-4100	9601	SET ウィンドラブ吉松 PG スクール 鹿児島県姶良郡吉松町中津川 418-1 ☎0995-75-2755
4707	エコーバレーグリーングラス PG スクール 長野県小県郡長門町姫木平 ☎0268-69-2002		

## JHF 技能証発行数 (1998年5月31日現在)

ハンググライダー	P証	4,657	パラグライディング	P証	16,715
	C証	6,566		NP証	6,856
	B証	11,044		補助動力NP証	56
	A証	10,436		B証	37,018
	補助動力証	18		補助動力B証	115
	XC証	997		A証	38,926
				補助動力A証	142
		補助動力証	836		
		XC証	3,031		

JHF ホームページもご覧ください。 <http://www.skysports.or.jp/jhf/>

## JHF レポート 6月・7月号

1998-Vol. 6・7 (No.138)

発行日 1998年6月20日  
発行 (社)日本ハンググライディング連盟  
〒105-0004 東京都港区新橋 2-5-6 大村ビル 4F  
TEL.03-3592-2651 FAX.03-3597-0245

編集 JHF 企画部広報出版局  
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。